

● 使用材料・使用器具

使用材料

キクスイ 15kg/缶  
 プライマースーパーE  
 グラナダF 20kg/缶  
 専用骨材1厘 20kg/紙袋

使用器具

計量 秤  
 下塗り エアレススプレー等  
 基層塗り リシンガン  
 模様塗り タイルガン

● 標準施工仕様

(23℃、50%RH)

工程	使用材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗り 回数	工程間隔時間(hr)		備考
					工程内	工程間	
下塗り	キクスイ プライマースーパーE	15kg 無希釈	0.1～0.19	1		3以上	エアレススプレー等
基層塗り	グラナダF	20kg	0.8～1.0	1	—	6以上	リシンガン 口径:4～6mm 吹圧:0.5～0.6MPa
	清水	1～2kg					
模様塗り	グラナダF	20kg	1.4～1.6	1	—		タイルガン 口径:6～8mm 吹圧:0.5～0.6MPa
	専用骨材1厘	5kg					
	清水	0.4～0.8kg					
養生撤去	養生シートなどの撤去を行う。				—	直後又は 乾燥後	
最終養生	施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。				—	24以上	

● 標準施工要領

0. 注意点

- ①プチパターンは薄塗り仕上げであり、下地は平滑であること。
- ②プチパターンは薄塗り仕上げであり、下地は吸い込みムラのないこと。
- ③プチパターンは薄塗り仕上げであり、乾燥が速いため、施工面積や、日光など考慮し、吹き継ぎムラがでないように施工する。

1. 下塗り

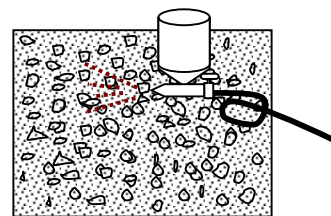
- ①下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ②下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

2. 基層塗り

- ①開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤や定量ヒシヤクなどを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシンガンで吹き付ける。

3. 模様塗り

- ①主材は定められた仕上がりになるように指定された骨材・清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ②模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を小～中玉吹き放し調に吹き付ける。
- ③希釈、ガンの口径、吹き付け圧などの条件設定で、ベタにならないように吹く。



4. 養生撤去他

- ①養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。
- ②外部施工で、施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。
- ③足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。